

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 12 - 2

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		病院情報ネットワークシステム整備事業					
評価者	担当課名	国保病院		担当係名		庶務係	
	管理職	職名	事務長		作成者	係長	
		氏名	高見雄二			氏名	新谷朋人
事業の概要	安定且つ迅速な医療体制を確保するため、医事・会計・オーダリング等システムの更新を行う。					全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 5,000 千円 地方債 千円 その他 68,237 千円 一般財源 千円 事業費計 73,237 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業		優先度	B
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武 ~ 保健・医療・福祉の充実 ~					
	基本施策	6 保健・医療の充実					
	単位施策	5 地域医療体制維持の確立					
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	5,000 千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	4,406 千円	12,062 千円	16,232 千円	16,232 千円	16,232 千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円	
	合計	9,406 千円	12,062 千円	16,232 千円	16,232 千円	16,232 千円	

265

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	迅速な医療サービス提供体制の構築	電算システム更新数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	システムの整備により安定した医療の提供と迅速なサービスの提供を目指す	指標(指標計算式/解説)	システム更新1件		
		目標年度	平成21年度		
		目標値	1 件		
		実績値	1 件		
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	安定した医療の提供とスムーズな会計処理、多様化する健診業務の受託が可能となる	目標年度			
		目標値			
		実績値			
		達成度	%		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
電算システムの更新	オーダリングシステムの更新 更新整備した医事・会計・薬品在庫システム、健診システム、レセプト電算システムのリース継続				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	安定且つ迅速な医療体制を維持していくためには、医療ネットワークシステムの計画的な更新は必要である
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	オーダリングシステムの更新によって部門間の連絡等が速やかに行われる等、患者の待ち時間短縮など迅速な対応が図られた。また、医事・会計システムの整備によるレセプトの電算化及び健診システムの整備によって、事務作業の効率化が図られている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	院内ネットワークシステムが更新されたことにより、迅速な事務処理体系が確立され、待ち時間短縮等のサービス向上にもつながった。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	安定した医療体制及びサービスの向上は町民が常に望むものであり、本事業は公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
安定的な医療の供給及びサービス提供の体制の確保は町として必要不可欠な事項である。		



継続 / 現状維持		
医療システムの更新には多額な費用を要するが、安定した医療とサービスの提供のためには必要な事業であることから、現状による継続が適当である。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--